

献辞

長年にわたり関西大学商学部、および商学会のために尽くされた生田靖先生は、1998年3月31日をもって、ご退職されました。先生は1968年4月本学にご着任されて以来30年間、教育、研究の面はいうまでもなく、大学および学部の運営に関しても、多大の貢献をされてこられました。商学部では長年にわたり、「農業経済論」および「協同組合論」を担当され、数多の俊英を世に送り出されてこられました。1986年10月からは商学部長の重職を担われましたが、その激務の最中に、不幸にも病魔に襲われました。以来10年余の間、不自由になられたお体と格闘されつつも、研究、教育に献身されてこられました。

先生は、愛媛県立三島高校を経て、滋賀大学経済学部に学ばれた後、京都大学大学院農学研究科に進まれ農業経済学を専攻されました。1966年高知大学農学部へ助手として任用され、研究者としての道を歩み始められましたが、先生のエネルギーな仕事振りは、この頃から目を見張るものがあり、2年後には最初の御著書『日本農業と協同組合』を上梓されております。平行して、高知県の農産物流通の実証研究に心血を注がれ、これは後に、学位論文として結実し、京都大学より1973年農学博士の学位を授与されております。

ご専門の農業経済と協同組合に関する研鑽の成果は、幾多の著書論文をもって世に問われ、斯界での高い評価を受けておられます。また、関西農業経済学会理事、日本流通学会評議員などを歴任されて、斯学の発展に大いに寄与されてこられました。

本商学部を去られましても、今後とも健康にご留意のうえ、商学部、商学会の発展のために、ご指導、ご鞭撻いただくよう願っております。私たちは、ここに先生のご退職を記念して『商学論集』の特集号を刊行し、足跡を回顧いたしますとともに、心からの感謝の意を表します。

1998年4月10日

商学部長 永 沼 博 道